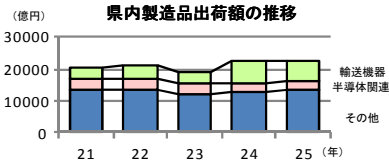


# いわて半導体関連産業集積促進協議会 新・取組方針

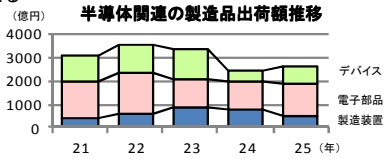
## 【H21以降の県内半導体関連産業の状況】

- ◆産業全体の動向  
 ○震災の影響などから関連産業の製造品出荷額は一時減少も、最新の調査結果では回復の兆し。  
 ・デバイスはH24年に大きく減少したが、H25年は一転増加。  
 ・電子部品は最近2年連続で増加。  
 ・製造装置は需要サイクルの影響もあり今後も流動的。  
 ○変動はあったものの、製造業全体の10%以上は維持しており、経済や雇用の面で地域における産業の存在感は依然大きい。



⇒ 厳しい環境下で変動こそあるものの、経済復興等を支える地域の中核産業としての位置付けは変わらず。

- ◆主要企業の動向  
 ○H24.10 デンソー岩手が操業開始。  
 ○H26.10 TEL東北に熱処理成膜装置関連業務集約。  
 ○東芝・北上新工場建設は凍結中も今後に期待。



⇒ 拠点機能強化に繋がる動きが各社で徐々に進行。

## 【H21策定「取組方針」に基づくI-SEPの取組実績】

### ◆連携交流・情報発信の取組

- 会員数は微増傾向。  
 ○セミコンジャンへの出展が定着。  
 ○東北他県デバイスメーカーや産学官の交流事業を多数実施。

⇒ 交流機会創出に一定の成果。今後は他産業への拡大など一層の広がりに期待。

⇒ 交流から取引・協業等に繋げる機能・取組の強化が必要。

### ◆人材育成・技術力向上の取組

- 半導体基礎講座やメンテナンス参入研究会等を実施。

⇒ 産学官の意欲的取組として、成功事例創出に期待。

⇒ これまでは既存市場、単一分野に集中。今後、幅広い市場や分野に対応した新たな取組の企画、参加会員の拡大が必要。

### ◆取組の総括

⇒ 厳しい環境下、既存技術・市場に対応した一定の取組を推進。

⇒ グローバル化や応用分野を見据えた一層の裾野拡大、新たなビジネスの芽を育てる産学官の企画・コーディネート強化に課題。

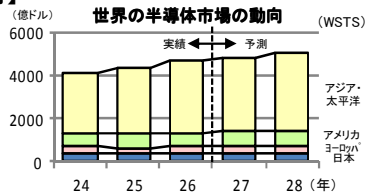
## 【半導体市場の動向】

### ◆世界の半導体市場

- タブレット端末、自動車等、好調な出口産業に支えられ、市場は今後も安定成長見込み。  
 ○アジア・太平洋地域、ファブレスメーカーが市場を牽引。

### ◆国内の半導体市場

- 業界再編が進展、大手各社は得意分野に資源集中。  
 ○円安・内需拡大が進行し、設備投資再開の動きあり。



## 【先進地域の事例】

### ◆大分地域

- 官主導から民主導の取組に転換し、地場企業グループによる新事業創出の取組が多数。

### ◆北九州地域

- 強力なコーディネート機能でビジネス創出推進。

## 【地域の社会経済環境】

- ILC誘致がもたらす地域社会・産業への様々な波及効果に大きな期待。

- 人口減少社会を見据え、産業競争力強化、魅力ある雇用環境づくり、人材育成等の取組が急務。半導体関連産業への期待も大きい。

## 基本認識

■様々な環境変化を経た今、中長期的な地域振興の観点から「取組方針」を改訂。

■復興とその先にある未来に向けて、地域の中核産業である半導体関連産業に対する期待は今後も大きい。

■半導体や関連技術の応用は無限の可能性。裾野の拡大やグローバル化を視野に積極的な活動を展開。

## <目指す姿>

- 情報と技術を岩手に集積！
- 高度な人材を岩手で育成！
- オール岩手で全国へ、世界へ！

取組年度  
H27～H29

●継続する取組 ○新たな取組

## 目標設定

- メンテナンス参入研究会からの成果創出
- 大規模展示会出展による取引拡大
- 地場企業が中核となった新たな研究会
- 大手企業と地場企業のマッチング交流会
- いわて加速器関連産業研究会(仮称)との連携・協調

活動目標	H27	H28	H29
シーズニーズ提案件数	30件	35件	40件

チャレンジ目標	3年間の累計
新規取引件数	50件

## <重点事項 1>

### 取引拡大

(ひろげる)

- 民主導の提案型活動をベースに、幅広い分野での成功事例創出を促進。
- コーディネート機能を強化し、新たなビジネスの芽づくりを推進。
- 大手企業と地場企業とが良きパートナーとなり、連携して新たな市場の創造と取引拡大の可能性を追求。

## <重点事項 2>

### 連携交流

(よくする)

- 海外や先進地域との交流等を通じて、新たなビジネスに繋がる各種情報の収集・発信を強化。
- 成長産業・応用分野等と積極的に連携し、裾野拡大を視野に活動を展開。
- 会員の相互理解を一層深め、新たなビジネス創出の土壌を形成。

- 北九州など先進地域との連携交流
- 岩手県半導体関連企業マップの作成
- 他産業を含めた会員拡大
- 応用分野等を対象とした新たな連携交流
- 海外展開可能性等の調査検討
- 会員の相互理解を深める交流促進

活動目標	H27	H28	H29
交流会等参加企業数	150社	170社	200社

チャレンジ目標	3年間の累計
I-SEP新規会員数	50社

## <重点事項 3>

### 人材育成

(そだてる)

- 産学官が連携・協力し、半導体・電気・電子分野を中心としたものづくり分野における未来を担うプロフェッショナル人材を育成。
- 産学交流や企業交流の実践の場を通じて、コーディネート人材や次世代の地域産業のリーダー人材を育成。

- 半導体基礎講座等の専門講座
- 大学・高専等のシーズ発表会
- 岩手マイスター育成事業の積極的活用
- 企業人材を活用した教職員・学生教育等

活動目標	H27	H28	H29
関連事業開催回数	15回	17回	20回

## 推進方策

- ・重点事項毎に部会を設置して各種事業を企画・推進。
- ・外部資金の活用も図りながらコーディネート機能を強化。